

ときわの島 いぜな



議会だより

No.
167

発行 2020年9月

第2回定例会議決結果一覧

②～③

第2回臨時会議決結果一覧

③

議会の動き

③

一般質問ダイジェスト

④～⑦

キラリ★いぜなっ子

⑧



**県産品の優先使用の
要請活動に対応**



令和2年 第2回伊是名村議会定例会議決結果一覧

令和2年第2回伊是名村議会定例会は、6月10日から12日までの3日間で開催された。本定例会に提案された議案は20件で、うち報告4件、承認2件、同意1件、発議1件、陳情2件で、一般質問には4人の議員が登壇し村政について質問した。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
報告第1号	令和元年度伊是名村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	2事業の繰越し要因・計算書の報告	報 告
報告第2号	令和元年度伊是名村簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	1事業の繰越し要因・計算書の報告	報 告
報告第3号	専決処分の報告について (定住促進住宅(仲田区)建築工事(R1))	定住促進住宅(仲田区)の建築工事契約金額変更についての専決処分	報 告
報告第4号	専決処分の報告について (伊是名漁港海岸整備工事)	伊是名漁港海岸整備工事契約金額変更についての専決処分	報 告
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (伊是名村税条例)	伊是名村税条例の一部を改正する条例の専決処分	承 認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (伊是名村国民健康保険税条例)	伊是名村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分	承 認
議案第24号	伊是名村税条例の一部を改正する条例	条例の一部改正	原案可決
議案第25号	伊是名村新型インフルエンザ等対策本部条例の一部を改正する条例	条例の一部改正	原案可決
議案第26号	指定管理者の指定について (定住促進住宅仲田1号棟)	定住促進住宅仲田1号棟の指定管理者の指定	原案可決
議案第27号	工事請負契約について (村道南風原線道路改良工事(R2))	契約の目的:村道南風原線道路改良工事(R2) 契約の方法:指名競争入札 契約金額:58,300,000円 契約の相手方:有限会社タカラ建設 代表取締役 高良富三	原案可決
議案第28号	令和2年度伊是名村一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ85,055千円を追加し、総額をそれぞれ2,693,985千円とする。	原案可決
議案第29号	令和2年度伊是名村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ586千円を追加し、総額をそれぞれ258,875千円とする。	原案可決
議案第30号	令和2年度伊是名村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ3,004千円を追加し、総額をそれぞれ186,300千円とする。	原案可決
議案第31号	令和2年度伊是名村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1,060千円を追加し、総額をそれぞれ107,726千円とする。	原案可決
議案第32号	令和2年度伊是名村港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ106千円を追加し、総額をそれぞれ9,174千円とする。	原案可決
議案第33号	令和2年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ13,088千円を追加し、総額をそれぞれ427,349千円とする。	原案可決

同意第3号	伊是名村固定資産評価員の選任について	諸見 直也 氏	同 意
発議第3号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出	原案可決
陳情第1号	新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響を受けている商工業者並びに観光事業への特段の配慮について(要請)	新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響を受けている商工業者並びに観光事業への事業継続に係る支援の要請	採 択
陳情第2号	「新型コロナウイルス」感染拡大に伴う経営支援に関する要請書	新型コロナウイルスの影響により修学旅行団の入村キャンセルによる観光協会と民泊会員の安定した経営が持続的に営めることを目的とした支援の要請	採 択

令和2年 第2回伊是名村議会臨時会議決結果一覧

令和2年第2回伊是名村議会臨時会は、8月3日の1日間で開催された。本臨時会で提案された議案は1件です。審議の結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
議案第34号	財産の無償貸付けについて	〈無償貸付け財産〉 所在：伊是名村字内花イシジウムイ原 3962-1～3982-4 面積：76,006㎡ 〈貸付けの相手方〉 伊是名村字仲田1165番地 沖縄県農業協同組合伊是名支店 支店長 上原長良 〈貸付けの目的〉 さとうきび種苗確保のため	原案可決

議会の動き

令和2年6月～8月



6月 4日(木) 北部市町村議会議長会定例総会
 (議長) 北部会館
 “ 議会運営委員会
 10日(水) 第2回定例会(～12日(金))
 23日(火) 第51回伊是名村戦没者慰霊祭
 伊是名村慰霊塔
 29日(月) 令和2年度尚門王マラソン大会通
 常総会(議長) 産業支援センター
 7月 1日(水) 沖縄振興拡大会議web会議(議長)
 伊是名村役場公室内

13日(月) 県産品優先使用の要請活動(議長・
 局長) 伊是名村役場公室内
 16日(木) 令和2年度伊平屋・伊是名架橋建設
 促進協議会理事会(議長)
 産業支援センター
 8月 3日(月) 令和2年第2回臨時会
 18日(火) 北部広域市町村圏事務組合議会
 第56回定例会(議長)
 “ 令和2年度北部市町村議会議長会
 第2回総会(議長・局長) 北部会館



水産業の振興対策について

Q1 モズク加工処理施設整備計画の進捗状況は

Q2 遊休化トコブシ養殖施設を有効活用して



あがり え きよ かず
東江 清和 議員



伊是名区 網干し

Q1 東江清和議員

備計画の進捗状況について。モズク加工処理施設は築23年が経過、建屋の劣化や機械設備等の老朽化が著しく作業形態に支障を及ぼしている状況、施設更新整備が急務となっている。施設の更新整備は村長の政治公約にも取り上げられ、平成31年第1回定例会議において「浜活プラン更新時に伊是名地区地域水産検討委員会の中で再検討し具体的な整備計画を盛り込み整備する」とのことであつたが、進捗状況はどのようなになっているか、伺います。

A 前田政義村長

モズク加工処理施設がかなり老朽化していることは重々承知している。施設整備は、漁業協同組合の計画プランである「浜の活力再生プラン」に盛り込む必要がある。改定プランに基づき組合側が施設整備計画書を作成し村に提出されしだい該当する補助メニューで進めていきたいが、漁協側から積極的な取り組みや強い熱意が無ければなかなか県や国も取り上げてくれないという制度の中にある。浜活プランは5カ年の計画で国に認定を受けており来年には終了するという計画の内容になっている。様々な施策をするには来期の計画に盛り込む必要がある。

Q 東江清和議員

次期プランに持ち越すことについて、漁協との調整はされたのか。

A 前田秀光農林水産課長

年一回再生委員会を開く予定だが、いまだ漁協とそのやりとりはしていない。

Q 東江清和議員

施政方針にもちゃんと漁業と連携しながら、色々な事

業を進めていくという事がありました。1次産業の中でも農業については、あらゆる補助も行き届いている。漁協の支援についても積極的に後押し、水産振興の今後の発展のため、連携、協力して進めてもらいたい。

Q2 東江清和議員

遊休化したトコブシ等養殖施設の有効活用について、平成14年建築、平成19年から休止状態で12年も放置されている、当施設は高さ2メートル程の水槽が弊害になっている、水槽を取っ払ってフラットにする。漁協や海人の皆さんがモズク網干し場、網洗い場等その他作業場として有効活用できるが、村長の考えを伺いたい。

A 前田政義村長

当施設は漁協が管理、諸事情により整備してから5年後の平成19年、施設の使用を休止している。当該施設の事業主体は恩納村であり建物の改修等を行う際には恩納村の許可が必要となる、事業を構成する恩納村、伊江村、伊平屋村、伊是名村、4村で協議していかなくてはならないため、慎重に進めていく必要があると考えております。

Q 東江清和議員

平成19年から12年も放置状態にあることが問題だ、当施設について令和元年1月に恩納村から施設譲渡の申し出が村にあつたそうだがその協議はされたのか。

A 前田秀光農林水産課長

施設譲渡について調整したいとの話はあつた、その後協議まで至っていない。施設の改良について恩納村に確認したところ、耐用年数がまだ残っている状況で整備促進するとなると伊是名村は恩納村に補助金を返還していただく事になるとの回答があつた。

Q 東江清和議員

漁業の振興を推進する上で、当施設の改良はあらゆる面で有効だと思われる。施設の改良及び漁港周辺で網干し場の整備も含め、村長の考えを伺いたい。

A 前田政義村長

以前から必要だと考えている、漁協や漁民の皆さんが活用できるように意見交換をし、その実現を図りたいと考えている。

Q 認定こども園の開園



みやぎ よしひで
宮城 義秀 議員

Q 宮城義秀議員
子育て支援制度の改正に伴い、地域の実情に応じた「認定こども園」制度がスタートし、本村においても平成28年度より、一部改正してスタートしています。そして令和2年度施政方針では「0歳児から5歳児までの幼児教育と保育を一体化した認定こども園の早期開演を目指す」としていますが、具体的な政策がわかりかねます。そこで次のことについてお伺いします。①いつから開園を目指すのか。②どこにこども園を開園するのか。③令和2年度策定「辺地総合整備計画」の伊是名小学校改築計画及び伊是名幼稚園改築計画、給食センター改築計画との整合性は図られているのか。また、「辺地総合整備計画」では認定こども園の計画はされていないが、どのような事業計画なのか。④関係部局が連携し取り組むとしていますが、関係部局はどこで、主管課はどこなのか。

A 前田政義村長
認定こども園の設立につ

いては小学校建設予定地の一角に認定こども園の敷地を確保して、認可に必要な一連の事務作業を進めていきたいと考えています。事業推進にあたりましては、教育委員会を主管課として住民福祉課、総務課、企画財政課等、いわゆる関係部局で協議会を設置して取り組みたいと考えています。なお、辺地総合整備計画の中には、小学校建設が令和2年実施設計、令和3年に工事着工、そして幼稚園舎が令和3年に実施設計、令和4年に工事着工、また給食センターは、令和4年に実施設計、そして令和5年度に工事着工というふうになっております。

Q 宮城義秀議員
小学校建設予定地の一角に認定こども園の敷地を確保するというお話ですが、教育委員会から図面を示されましたが、認定こども園配置計画はありませんでした。辺地計画でも認定こども園の計画はありません。先ほど村長が小学校の周辺につくるということと返答されていますけど、今年の

施政方針で既に配置計画はないとおかしいのではないのでしょうか。

A 神田宗秀企画政策課長
今年の3月に辺地総合計画、新たな計画を策定しましたが、こども園の具体的な整備計画というのは、まだ策定されていない状況です。変更があるなら追加して計画に入れていることになると思います。

Q 宮城義秀議員
こども園の開園を目指す中で大きな財政を伴うにもかかわらず、具体的な計画も明示されていないが、村長は小学校跡地に造るということをおっしゃっています。これらのことを議員全員と教育委員会で話し合いを持ったら、教育長や教育課長は、この計画の配置については、すべて白紙に戻してもう一度やりたいというふうな申し出がありました。この認定こども園をどのような形で今後また検討委員会あたりを設けて検討していくのか。認定こども園のメリットも含めてお願いいたします。

A 濱里篤教育振興課長
認定こども園のメリットは、0歳児から5歳児までのトータル的な幼児教育になり、保育士や幼稚園の教諭が全体的に子どもたちを預かることとなります。教諭の人数の削減が図っているメリットがあると考えております。

Q 宮城義秀議員
小学校や認定こども園、給食センターを一緒に造れば、これから50年は動かせないような大きな事業計画になります。ぜひ、小学校の造り替えに合わせて、新たな配置計画と事業を進めて、一体的な整備をお願いいたします。

A 前田政義村長
認定こども園の開設について、私の施政方針の中でも開園を目指すと言っています。そういう関係もありまして、ぜひ関係する課で協議をして、認定こども園が補助事業としてメニューがあるかどうか。あればそれを活用していきたいというふう考えております。

5 No.167 2020年9月



新型コロナウイルスの影響による 村民生活、経済的支援策



伊礼 正徳 議員

Q 伊礼正徳議員

村内の一大イベントが中止、各字の諸行事もほぼ見送りとなる予想であり、修学旅行団民泊事業も見通しがなく、今後は村観光産業に与える経済的影響は大きな損失と想定されます。県はすでに6都道府県を除き、徐々に移動自粛解除に向けて経済回復を目指していますが、村の観光事業や他産業の経済回復策を伺います。

前田政義村長

A 本村は渡航自粛を解除して3密を軸にした新生活様式の下、来訪者の受け入れを再開しているところです。経済支援対策については、国の地方創生臨時交付金と村単独予算を充当した事業者支援事業等、8つの支援事業を予算補正し、村内経済の回復に向け、取り組んでいるところであります。補正予算で対応できない点は各事業所と意見交換しながら講じていく考えです。

Q 伊礼正徳議員

尚円王まつり、トライアスロン大会それぞれの経済効果の算定を伺います。また、す

でに影響を受けた5月連休前後の通年の入域減の割合を伺います。

A 前川栄進商工観光課長

尚円王まつりは二千万円ほどです。トライアスロン大会は二千五百万円ですが、社会的な状況を勘案するとそれ以上と思われる。5月連休前後の人の動きは8割ほど減となっています。

Q 伊礼正徳議員

各字の8月までのイベント諸行事もすでに中止と聞いています。9月以降の行事などは動向を見ながら判断するということですが、村としてはどう考えているか伺います。

A 諸見美奈子住民福祉課長

国が示す基本方針は外出自粛や施設の仕様制限、催し物イベントの制限を今後緩和し、経済レベルを上げていくとしています。区長会に今後は国、県が示す資料に基づき対策を説明していきます。開催は各行政委員会で検討してほしいと考えています。

Q 伊礼正徳議員

県は県内向けの旅行助

成事業を掲げているが、旅行社からの観光団を村は受け入れずと考えるよろしいですか。

A 諸見美奈子住民福祉課長

宿泊施設等において検温、健康観察などの協力依頼をすることになっています。その方針で村も受け入れしていくことになると思います。

Q 伊礼正徳議員

緊急事態宣言により影響を受けている村商工会、いぜん島観光協会から支援要請があつたが、支援策はどう考えていますか。またほかの農林水産関係者や個人事業所からの要請はなかつたか伺います。

A 前田政義村長

要望があつたことは真摯に受けとめ、内容を精査し、どのような支援策があるか検討していきたいと思っています。損失を被っている事業者はぜひ支援をしていきたいと思っています。農林水産業やほかの事業者からは今のところ大きな打撃は受けていないとの情報です。

Q 伊礼正徳議員

民泊事業はすでに二学期は延期中止になっており、今

後の見通しもない状況です。村の観光産業に大きく貢献している民泊会員への手厚い支援を検討できませんでしょうか。

A 前田政義村長

今年度は受け入れができないことを決定したと聞き、大変残念に思っています。村経済に大きな貢献をされた方々に対し、村として何らかの支援をしていかなければと考えています。

Q 伊礼正徳議員

今後の緊急事態に備え、経済を支える各種団体、専門委員、村民で構成した経済活性化協議会を即設置して、活発な意見交換の場とすることを目指します。

A 前田政義村長

緊急的な事項でもありますので、検討協議会のような形で取り組むよう努力していきたいと考えています。

Q 伊礼正徳議員

最後に先の一律特別定額交付金の支給率を伺います。

A 諸見直也総務課長

97・6%の支給を終えています。

Q 新型コロナウイルス感染症 による授業の遅れ



しおひら 潮平そのみ 議員

Q 潮平そのみ議員
新型コロナウイルス感染症

別措置法に基づき、本村に於いても学校が休校していましたが、5月21日から臨時休校していた学校も再開しました。しかし、私はこの1カ月半の授業の遅れが非常に気になっております。その遅れを取り戻す対策及び対処方法について、教育長の考えを伺いたいと思います。

A 照屋巧教育長

学校と協議を行い、学年度末を見据えて、すべての学年のすべての教科の指導内容を完全実施していくために4つの対応策に取り組んでいきます。まず、1つ目に夏休みを短縮して授業日数、授業時数を確保すること。2つ目に予備時数を確保すること。3つ目に教科ごとに1学期に指導すべきであった内容を2学期に移動すると指導計画の工夫をしていく。4つ目に学校に関連する教育委員会、行事の精選、見直し、学校現場における教育活動や行事の精選、見直し、縮小など

Q 潮平そのみ議員

を図る。以上の4つの対応策で標準授業時数の確保によるすべての教科の指導内容の完全実施、並びに学校教育活動の必要最低限の実施により、幼児、児童生徒の学びを確実に保障していきたいと考えています。

Q 潮平そのみ議員

学校行事の中止が多くなっていますが、1年間通してのスケジュールはどのようになっているのでしょうか。

A 照屋巧教育長

子どもたちや保護者にとつて大事な学校行事が中止に追い込まれています。中体連や3年生の修学旅行に関しては実施していく方針であります。日高市との交流行事は可能かどうか検証して実施の方

Q 潮平そのみ議員

例年1学期に行われていた運動会はどうなりますか。

A 濱里篤教育振興課長

幼稚園、小、中学校は村民運動会での実施に向けて取り組んでおりましたが、中止

Q 潮平そのみ議員

が決定しました。今後は協議していくことになっております。幼稚園、小学校、中学校の運動会は学校教育の二環ですが、村の行事と併せて行っても大丈夫な行事なんでしょうか。

A 濱里篤教育振興課長

運動会は全村民が対象ということで協議を進めておりましたので、幼稚園、小学校、中学校とも、その中で取り組んでいくということでの協議は

Q 潮平そのみ議員

渡米して行われる中学校のホームステイ行事はどうなるのでしょうか。

A 濱里篤教育振興課長

海外短期留学は主催者の沖縄タイムスさんの活動に我々も一緒に村から補助をしてお二人派遣していました。現在、米国の方で新型コロナウイルス感染症がまだ猛威がふるっている状況でもあり、渡米ができない状況だと私も考えておりますので、また沖縄タイムス

Q 潮平そのみ議員

新型コロナウイルス感染症対策として、学校にパソコンなどの整備事業で端末導入タブレットも今回予算措置もされております。今後の学校の勉強のあり方、社会の変動による教育のあり方を教えてください。

A 照屋巧教育長

ICT教育のためのタブレットを利用した授業は突然の休校措置による授業の遅れを緩和すると思います。そのためにはやはり全地域にWi-Fi環境の整備が大切だと思います。島内にすべて誰一人隔たりなくWi-Fiを整備することが望まれるのではないかなと思います。



キラリ★
いぜなっ子
ザ・学生Ⅱ
vol.21

キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、近隣学校単位で掲載することになりました。今回のキラリ★いぜなっ子は沖縄県立沖縄工業高等学校に通う皆さんです。



新田歩夢くん

沖縄県立沖縄工業高等学校
(3年生)

新田 歩夢くん(諸見)

沖縄県立沖縄工業高等学校
(3年生)

東江こころさん(伊是名)

歩夢くんは中学生のころ、技術を身につけて社会に出たい考え、沖縄工業高校に入学しました。

高校は寮生活からスタートします。最初はうまく馴染んでいけるか心配だったのですが、ルームメイトが地元の先輩だったこともあり、環境に早く慣れることができたそうです。

寮での生活に順応し始めると仲間もでき、学校生

活での友人も増え始めます。

学校生活での思い出は、専攻する土木科の仲間たちと参加した球技大会や遠足などの行事がとても楽しかったと心に残っているそうです。

専攻する土木科では初めて学ぶ分野でしたが一生懸命取り組みだことで何とか勉強にもついていくことができ、現在は土木施工管理技士2級試験に向けて、日々勉強に励んでいます。

卒業後は建築関係の仕事に就きたいと考えているそうです。

「建築関係を基本に考えていますが、モノづくりを応用して様々な業種に挑戦してみたい」と希望に燃えています。

後輩たちへのアドバイスをお願いすると「地元の友人たちは本島に出てきたから助けてくれる仲間なので大切にしてほしい」と話してくれました。



東江こころさん

こころさんは幼いころから料理を作ることに興味があったことやお兄さんが沖縄工業に進学していた影響もあり、沖縄工業高校の生活情報科食物コースに進学を決めました。

最初は学校の近くにお兄さんと同居し、学校生活をスタート。

本島の生活になかなか慣れず、飲み水や食事など環境に適応することに苦労します。しかし、幼いころ両親から「料理や洗濯などいづれは島を出ても一人でやっていけるように意識しなさい」と教えられていた経験が活

き、次第に生活にも慣れ始めます。

学校生活では一カ月ぐらい経つと友人もでき始め、遠足などの行事で仲を

深めました。勉強でも調理や栄養などを学び、現在では食物調理一級検定に挑戦したいと考えています。

また、驚くことに沖工に通うことで他分野のことにも興味が湧き、小型クレーンやダンプカーなどの免許取得にも励んでいたそうです。

色々と興味を持つこころさんの卒業後の進路はブライダル関係の仕事に進みたいと話します。一見、他分野の仕事のように聞かれますが「人を喜ばせることは共通しています」と笑顔で話してくれました。多くの人々の幸せのお手伝いをしていくのでしょう。

後輩たちへのアドバイスをたずねると「最初は環境に慣れることが、学校生活を充実させるポイントだと思います。一人で頑張るのではなく、まわりを十分に頼ってもいいので前を向いて頑張つてほしい」とエールを送ってくれました。

編集
後記

議会だよりは定例会ごとの審議が主に編集掲載されるが、前号は新型コロナウイルスの影響を受け、学生シリーズなどの掲載ができず、ようやく今月号から平常な記事掲載になりました。

しかし、再び県内に感染拡大し、歯止めがかからない、県独自の緊急事態宣言が発令、さらに自粛期間も延長となり大変厳しい生活環境に直面しています。村民一体となって感染拡大防止策で収束させ、安心安全な生活環境を取り戻したいものです。

村民の皆様、くれぐれもお体にはご留意され、ご自愛ください。

広報調査特別委員会 伊礼正徳

表紙説明

去る7月13日県産品優先使用要請団来村。古波津団長(右)から要請書を受ける宮城議長(左)